

8月18日(月) 大雪山(黒岳から北海岳) 快晴

○今日は 大雪山ではもっともポピュラーな黒岳へ登り北海岳まで足をのびした。

・YHのベッドで4:30に目が覚めた。誰もいないホールでパンと牛乳で食事をしていると例のお兄さんが1時間間違えて起きてきた。食事をしながら写真の話などをする、ニコンF80を使用しB/W写真を撮っているという。なかなかのマニアだ。5時半にお兄さんに別れを告げてロープウエー駅へ向かった。空はガスで覆われている、天気が悪いか!

・6時始発のロープウエーは乗客が10人ほど。どんどん高度を上げてゆくうちに、なんと雲の上に出た! ロープウエーの上駅は雲の上で雲一つない快晴だ。下には雲海がびっしりと覆っている。片道切符のリフトに乗って7合目へ。抜けるような青空の中、黒岳への登に着く。ところが途中でいやな予感が頭をかすめた。ザックを下ろして中身を確認、やっぱり予感通り「水が



無い!」、ザックに入れるのを忘れたようだ、どうしようか。水を持たない山登りは自殺行為だ、特に快晴の夏山だ。救いは昼食用に持ってきた野菜ジュースだ、とにかく黒岳山頂までは行くことにした。

・黒岳山頂は雲一つない快晴で360度の天望が開ける。昨年登った白雲岳や旭岳方面がくっきりと見える。さて水が無いからここで引き返すべきか。地図を見ると



黒岳頂上



石室付近

この先の石室にはキャンプ場があるらしく、水場の印がある。「こんなに天気が良いしここで引き返すのはもったいない、とにかく石室までは行ってみよう、何とかなるかもしれない」と思って石室へ向かってガレ道を下った。

- 石室ではおじさんとお兄さんがのんびりと日向ぼっこをしていた。「水を忘れた」と事情を話すと、「おれも暑寒別岳で水を持たずに登って死ぬ思いをした」と話が弾み「北海岳には沢が多く、飲める沢もあるから行ってみたら」との助言をいただき、飲める沢の場所も教えてもらった。もともと今日の予定が北海岳だったので勇んで北海岳をめざして出発した。



美しい硫酸の川

- 快晴で広大で静かな山中にだれ一人歩いている、見渡す限り私一人の山を黙々と歩く。

途中沢を3回渡ったが、二本目の沢はなかなか大きな沢でなめてみるとめっちゃめっちゃ酸っぱい、硫酸の川だ、室のおじさんの云った「あかいし川」だと思う。3本目の川は室のおじさんが云っていた「左から流れてくる川」で、これが「飲める沢」らしい。あまり喉も乾いていないので少し飲んでから、先ほど黒岳山頂で飲んで大切に持ってきた野菜ジュースの空箱に水を満たし、こぼさないように手に持って北海岳をめざした。これで北海岳へ無事登れるぞ！



北海岳山頂

- 北海岳は外輪山の一つなのでなだらかな斜面を登って楽に山頂に立った。山頂にも人っ子一人いない。まさに360度の



目の前にトムラウシ



目の前をキタキツネが横切って

展望、トムラウシはほんの目の前に、手の届きそうな近くに見える。写真を撮りまくっていると旭岳方面から青年が一人やってきて、ほとんど素通りで白雲岳歩面へ歩いていった。その後また旭岳方面から、今度は外人(アメリカ人?)の男女(夫婦?)がやってきた。めちゃくちゃでかい(縦も横も)女だ！

二人を残して下山についた。途中の道でキタキツネがヒョコヒョコと現れ目の前を横切っ
ていった。

- ・無事石室へ到着し、室のおじさんに下山報告と水のお礼を言って黒岳へ。雲一つ見えなかつた晴天も、だんだんと雲が現れだし視界も悪く気温も寒くなってきた。今12時少し前、山はやはり早朝が勝負だ。黒岳からの下り道はすっかりガスがかかって視界無し、これから登って行く人とも結構すれ違った。お気の毒に！ がんがん下って7合目リフト駅へ12時半に到着。リフトの下を歩いて下る予定だったが疲れたのでリフトに乗り、13時発のゴンドラで一気の下までおりた。途中ガスの下に出て、層雲峡駅は晴れていた。

- ・今日の宿は道の駅「とうま」を予定。無料高速をとばして2時過ぎに「とうま」へ着いた。なかなか良い駅だが風呂と水道設備はない。まだ真夏の日中なので日差しが暑い。5kmほど離れたところに「当麻ヘルシーシャトー」という温泉施設がありそこへ向かう。今日のすばらしい大雪山を思い出しながら500円の温泉でゆっくりと疲れを癒した。缶ビール3缶も飲んで、ぶたじゃがパスタで腹一杯にして7時前に就寝した。



道の駅「とうま」

- *隣はバンコン（バンコンバージョン）のキャンピングカーで高崎から来たという長谷川さん、その隣は福生から来ているというご夫婦、どちらも一ヶ月以上北海道をまわっているという。福生のご夫婦は写真家とかでグルメの旅をしている。高崎の長谷川さんは新聞記者とやらで、釣りに山に車にといろいろなことを本に投稿しているらしい。

8月19日（火） 移動（当麻 ～ 旭川 ～ 鶴沼） 晴

○今日から2～3日は天気が悪いらしい。山はしばらくお休みだ。

- ・4時半起床、空はうっすらと晴れている。これから天気がぐずつくようなのでこの辺の山は切り上げて、札幌・ニセコあたりへ移動することにする。旭川で買い物をしたいし、道の駅でスタンプを集めたいので10時ころまでここ、道の駅「とうま」で日記を書いたり、パソコンをしたり、テレビを見たりして時間をつぶす。



道の駅「あさひかわ」

- ・まず道の駅「あさひかわ」でスタンプ。
町のど真ん中にあるが立派な建物で駐車場もなかなか広くて泊まれそうだ。
町の中なので何かと便利だろう。

- ・道の駅「ひがしかわ・道草館」：これも町のど真ん中の駅。昨年も来たが、小さいがきれいな駅でカメラの展示館がある。駐車場が小さくて泊まるのは無理か。店でトマトを購入。



道の駅「ひがしかわ・道草館」



道の駅「ライスランドふかがわ」

- ・道の駅「鐘のなるまち・ちっぷべつ」：秩父別の道の駅。ここは広々とした畑の中にあり、駐車場も広いし、温泉があり、レストランは夜8時までやっているし、隣の陸上競技場には水道設備もあるし、泊まるには最高のところ。難を云えばトイレが小さくてきれいじゃない。鐘の塔に登って広大な畑を一望した。



道の駅「鐘のなるまち・ちっぷべつ」



- ・道の駅「きたかわ」：北川の道の駅で、ここも広い駐車場に、風呂はないがレストランは8時までやっている、農産物の売店に野菜が豊富。水道設備もあって泊まれる駅だ。

← 道の駅「きたかわ」

- ・道の駅「うたしないチロルの湯」：広い駐車場に数台の車が止まっていて寂しい駅だ。風呂（チロルの湯）は別棟で一段上の方にある。レストランはここも7時までやっているようだ。トイレは小さく、水道設備は無い、泊まるには寂しそうな駅だ。



道の駅「うたしないチロルの湯」



道の駅「ハウスヤルビ奈井江」

- ・道の駅「ハウスヤルビ奈井江」：広い駐車場、風呂・水道設備は無いがトイレはきれい。そば屋は夜7時までやっている。泊まるには良さそうだ。
- ・道の駅「つるぬま」：鶴沼の駅で、広い駐車場に温泉があり水道設備もありトイレはウォッシュレット。レストランは6時までしか開いていないが、風呂はあるし、鶴沼公園のそばで環境もいいし、これから更に南下すると雨に降られるおそれがあるので、今日はここに泊まることにした。周りには車はほとんどいない寂しい駅だが。



道の駅「つるぬま」

*今日は当麻から道の駅に転々と寄りながら鶴沼まで南下してきた。途中ほとんどの道の駅には物産館が設置されていて、野菜が豊富に手に入る。トマトやキャベツを買い込んだ。深川のホームセンターで上下レインコートと長袖のシャツを購入した。札幌は今雨が降っているらしいが、ここまではおかげさまで雨に降られることもなく、一日中晴れていた。

- ・今5時半、温泉（400円）の窓からは下の方に鶴沼公園が見渡されなかなかなすばらしい。ビールの肴は「蒸し鶏のサラダ」「ひじきの五目煮」それに「松前漬け」と豪華版。メインディッシュはキャベツをたっぷり入れた具沢山のラーメン。夕闇迫る広い駐車場で一人寂しく晚餐、頭上には無数の赤とんぼが群れて飛んでいる。さて寝るか。

- ・こんなに良い駅なのに駅が閉じるとともに車が居なくなり、広い駐車場に私の車一台だけが取り残された。交通の要所ではないので車は少ないが、それにしても・・・。
寂しく眠りについた。

8月20日(水) 移動(鶴沼 ~ 千歳 ~ 京極) 曇

○今日も移動日。一日中曇天の下、鶴沼から千歳へ南下し中山峠を越えて羊蹄山の麓の京極まで移動した。

- ・昨夜は寒かった。明け方小雨が降っていたが4時半の起床時には雨はあがっていて薄曇り、ただ寒い。昨夜は私の車一台だった広い駐車場に現在遠くに軽自動車一台と中央にトラックが4台止まっているだけであいかわらず寂しい。トイレへ立ち寄る車が時折入ってきてはすぐ出てゆく。
- ・洗面後早速水場でシャツや下着の洗濯をする。寒いので車の中でバーナーを炊いて牛乳を温めパンの朝食をとる。さて今日はどこへ移動しようか。明日は天気も良くなりそうなので羊蹄山に登ろうか、とすると今日は羊蹄山の麓の京極をめざそう、と決めた。

今8時、鶴沼公園を散策する。鶴沼を中心にこぢんまりした静かな公園だ。ここは坂本龍馬の由緒ある地で郊外には龍馬の墓があると云うが本当か？

さて今日も京極に向けて道の駅スタンプラリーをしながら移動する。



鶴沼公園



道の駅「マオイの丘公園」

- ・道の駅「マオイの丘公園」：長沼町にある立派な道の駅だ。建物もトイレも立派で、レストランは8時まで、温泉は着いていないがすぐそばに「ながぬま温泉」がある。水道設備も完備しており十分泊まれる。

- ・道の駅「サーモンパーク千歳」：千歳の町中、千歳川の縁にあるでかい道の駅。サーモンパークは鮭の博物館で、千歳川の中を直接覗くことが出来て面白い。

- ・道の駅「花ロードえにわ」：恵庭の国道沿いにあるおしゃれな感じの道の駅で昨年はここに泊まった。駐車場広く、トイレはきれいでレストランはおしゃれ（680 円のカツカレーを昼食に食う）。物産館が完備されているので食材調達ができる。



道の駅「花ロードえにわ」



道の駅「望羊中山」

- ・道の駅「望羊中山」：札幌から喜茂別へ向かう国道 230 号線の中山峠にあり、羊蹄山を目の前に見るので「望羊」とう。

しかし今日はすっかりガスの中で何も見えないし、めっぽう寒い。駅施設はりっぱで駐車場も広いが標高が 890m もあり風が強くて寒いので泊まるのには難しいと思った。



ガスの中で羊蹄山は見えない



道の駅「名水の郷きょうごく」

- ・道の駅「名水の郷きょうごく」：羊蹄山の北麓の京極に出来た道の駅。今日の宿泊地だ。

*名水の郷と言うように羊蹄山の伏流水だろうか、隣接している公園にガンガンと湧水している様はなかなか壮観だ。施設はこじんまりとして小さいが駐車場は広く、水道施設も完備している。車はチラホラしか止まっていない。ビールの肴に売店で 120 円



のコロッケを買い乾杯。夕食はミックス野菜入りの中華そば。夕食中とうとう雨が降ってきた。広い駐車場にぽつんと一台、雨の中静かに床に入った。明日は羊蹄山に登ろうか、晴れると良いな。

← 園内には湧水がガンガン

8月21日(木) チセヌプリ 曇/ガス

○今日は天気が悪いので、羊蹄山を止めてチセヌプリに登った。

- ・朝4時に起床。雨は降っていないがどんよりと曇っている。天気は好転すると読んで羊蹄山に登る準備をする。朝食を早々に済ませ羊蹄山の比羅夫登山口の半月湖駐車場に5時半に着いた。立派な駐車場にはすでに5, 6台の車が来ている。小雨が降っていて天気は期待できない。登山の準備をしているおじさんに聞いたら「天気はいつもこんなものよ」とのこと。でもせっかくの羊蹄山なのに雨の中は登りたくない。
- ・道の駅「ニセコビュープラザ」まで下りて様子を見ることにした。日記を書いたり道の駅ラリーの整理などを行っている内に雨が上がり明るくなってきた。もう遅いのでこれから羊蹄山には登れない。予定の順序を入れ替えて羊蹄山は明日にして今日はチセヌプリへ登ることにした。



チセヌプリ登山口

チセヌプリの登山口は神仙沼の駐車場にある。神仙沼へ向けてニセコパノラマラインを登るにつれて雲行きが怪しくなり途中で雨が降り出した。駐車場についたら幸い雨は無く空も明るい、山はガスがかかって何も見えない。駐車場には私の車一台



のみ。8:55 出発したが、もちろん登山客は私のほかに誰もいない。神仙沼湿原を一周、静かでなかなか良い沼だが花は何も無い。長沼の湖岸を左手に見ながら林の中の登山道を歩

くが、昨日の雨と今日の霧でしっとり濡れた木々の葉や笹の葉をかき分けて歩くので全身びしょ濡れ。長沼を過ぎると林は開け笹原の登り道になる。天気良ければ最高の景色だろうが一寸先も見えないほどの濃い霧の中を濡れた笹をかき分けて登りびしょ濡れで頂上に立った。

- ・ 山頂は草付きで広くケルンが積んである。少し下には小池もあって、晴れたいたらすばらしい展望が楽しめただろうと思うが、今日は



ガスの中のチセヌプリ山頂



ガスのかかったチセヌプリと長沼

一面のガスで何も見えない。おにぎりの昼食をとり早々に下山につく。今来た道をガスの中、誰一人いない登山道の笹をかき分けて下る。ニセコにはヒグマは少ないとはいっても、いつ出くわすかわからない恐怖心から、鈴をガンガン鳴らし、一目散に駐車場を目指して下った。神仙沼あたりまで来るとガスも晴れていて観光客が結構来ていた。

- ・ 今日チセヌプリは誰一人会うこともなく私一人の寂しい登山だった。おまけにガスの中展望は全くなく、泥だらけのびしょ濡れでひどい登山だったが、ひぐまに遭わず無事下山できて良かった。泥で汚れた靴やスパッツやズボンをトイレの水道で洗い、やっと顔を出してきた日差しに広げて乾かす。
- ・ まだ早いので岩内に向けて車を走らせた。岩内の海岸線は山と違って夏の太陽が暑く照りつけている。MaxValueで買い物をしてから、明日の羊蹄山のため再び道の駅「京極」へ向かった。途中山に近づくにつれてかなりの雨が迎えてくれた。こりゃ明日もだめかな！
- ・ 京極では雨は止んでいた。道の駅と道を挟んで向いにある「京極温泉」で今日の疲れを癒す。なかなか良い風呂だが



京極温泉

ロッカーが有料（100円）なので、入浴料 500円と足して 600円は北海道では高い！

- ・夕食はビールの肴は酢豚とままかり、主食は野菜たっぷり入りのカレーうどん。良い気持ちですぐに寝床に入ったが、広い駐車場に今夜は私の車一台だけだった。
- *夜 トイレに起きたら、空には月が輝いていた。